

## 開場記念祭ゴルフ 400 人を超える参加者。桜満開の下のプレーで祝う

第 57 回を数える開場記念祭が 5 月 11 日と 12 日の二日間開かれた。今年の参加者は両日合わせて 450 人。初日が雨にたたられた昨年と比べ、雲泥の賑わいとなった。

満開のソメイヨシノに続いてヤマザクラが開き始め、コース沿いのツツジも見頃になり始めた三コースに開場記念を祝いながらのプレーが展開された。

今年の記念参加賞は、塩カンのロゴ入りのタンブラー。温暖化の中、今年も高温コースと闘う夏になりそうで、実用的な贈り物に顔をほころばせた。

また、飛び賞にも豪華な賞品が用意され、来年の開場祭が待ち遠しそうな人もいた。



## 早坂理事(コース委員長)が急逝。享年84。コース整備のボランティア活動に功績。

長く塩原カントリークラブ理事を務め、コース委員長だった早坂幸治氏が3月9日に死去した。早坂氏は大手建設会社で深山ダム建設に従事し、ダムの完成後から那須塩原市に居を構え、塩カンのメンバーになり、分科会役員、理事を務めた。コース痛みがひどかった20年近く前から、メンバーのボランティア活動によるコース整備を提唱、率先垂範して現在の体制を定着させた。

昨年後半から体調が悪くなり、この春は肺に水がたまる症状が悪化し帰らぬ人となった。今年のボランティア活動によるコース整備は4月17日からスタートしたが、作業開始前に都築支配人の声かけで参加者全員が黙祷、故人を偲び活動の継続、発展を誓い合った。



開場 50 周年記念  
座談会時の写真

## 舟岡・関口組 連覇を逃す。県ダブルス(シニアの部)。

第6回栃木県女子倶楽部対抗競技大会は4月13日、鹿沼72カントリークラブで開かれた。鹿沼CC・Aが優勝(232)塩カン(加藤仁美選手、中井明美選手、加藤里奈選手、野村しのぶ選手)は10位だった。

県ダブルス選手権は4月21日、鹿沼CC北コースで開かれ、シニアの部で連覇を狙った舟岡誠選手、関口健一選手組は2アンダーで首位に1打及ばず2位に終わった。

関東倶楽部対抗県予選は5月14日に塩原カントリークラブ、レイクランドカントリークラブ、同19日に那須小川ゴルフクラブで開催される。塩カンでは主催者から指名された塩カンなど17チームが予選通過を目指す。すでに大会の大看板もクラブ入り口に掲げられ、雰囲気盛り上げている。また、練習ラウンドにコースインするチームも目立ちにぎわっている。

関東倶楽部対抗の決勝は6月9日に鶴舞カントリークラブ(千葉県)行われる。

## マイクロバスに加え送迎ワゴン車を導入。

新幹線那須塩原駅からのゴルファーの送迎にこれまでマイクロバス1台でピストン輸送をしていたが、4月下旬から11人乗りのハイエース車を増強して送迎に当たっている。乗り心地や乗り合わせたプレーヤーとのコミュニケーションも格段にとりやすくなった。送迎を予約の際に、声をかけてもらえれば人員に見合った車を派遣できるとしている。



## 塩原・11湯の四季⑤

【皐月(さつき)】

文人墨客 ～三恩人異聞～

高原 泉

塩原11湯のうち最初に発見されたのは元湯で1200年前とされる。奈良時代のいわゆる天平時代にあたる。そして、三島通庸(みしまみちつね)、奥蘭田(おくらんでん)、尾崎紅葉を塩原の三恩人と呼ぶ。三島は官僚で「塩原新道」を開削、東京へのアクセスを可能にした。「山を割れ、谷を渡れ、塩原に道を通す」と命じた。奥は関西の煎茶愛好家で、明治21年、畑下に別荘を建てて滞在し、名勝、伝説、温泉場の特徴を「塩溪紀勝」にまとめて世に出した。これで、塩原の名が全国に知れた。

尾崎は読売新聞の連載小説「金色夜叉」を書いた。塩原の宿で構想を練り、筆をとったと塩原の名を読者に知らしめてくれた。「金色夜叉」は1897(明治30)年元旦から連載が始まり人気を博したが、肺結核と神経衰弱を患う紅葉の健康状態もあって断続的な連載となった。1899(明治32)年6月に畑下の清琴楼に3泊4日、その翌年の夏から秋にかけ、一ヶ月ほど滞在していたという。



【三島通庸】



【奥蘭田】



【尾崎紅葉】

紅葉が塩原で原稿を書いたのは、清琴楼と和泉屋旅館といわれる。紅葉の滞在は病氣療養ではなく、文学的リサーチと執筆の場だった。完成した原稿は木箱か封筒に入れ、馬車や人力車で西那須野駅まで運ばれ、汽車で東京へ送られた。

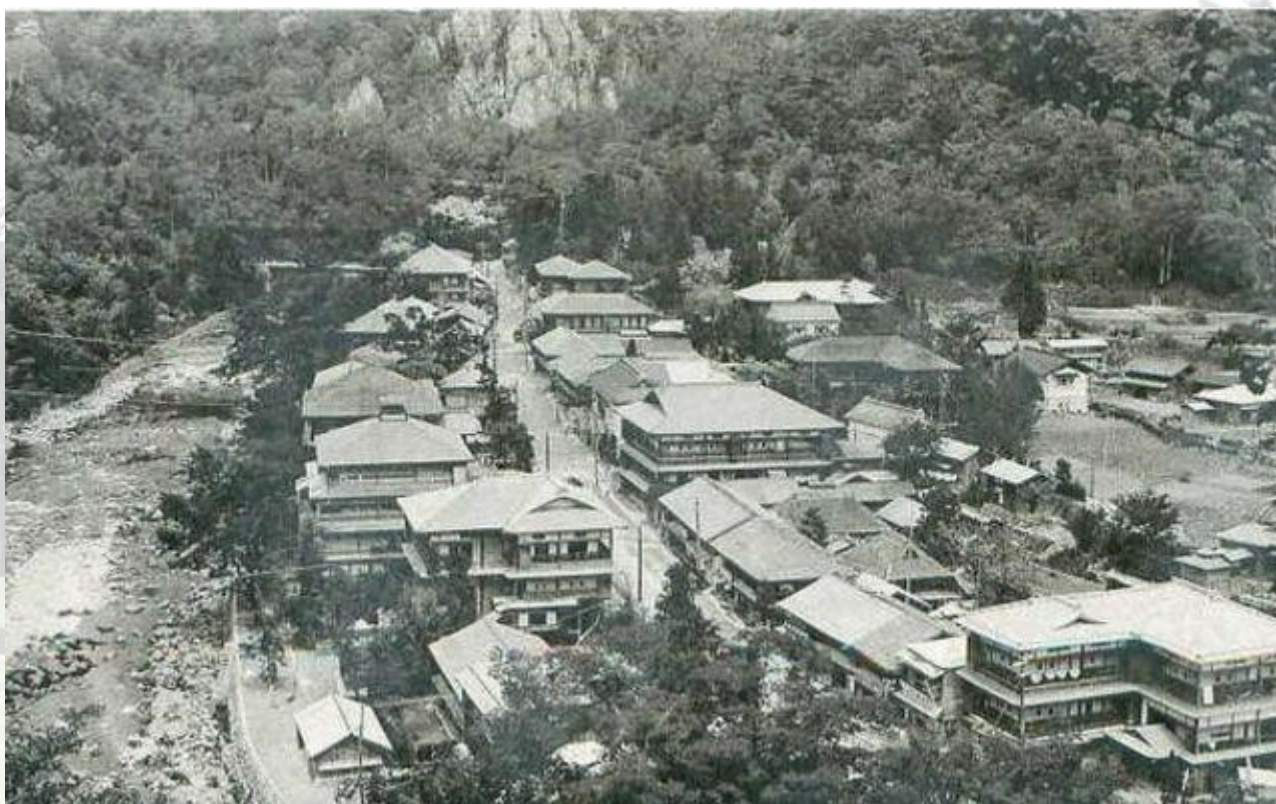
紅葉の塩原での日常の一端は弟子に当たる泉鏡花らが書き残している。朝、湯治として温泉に短くつかり、午前中は執筆だが、体調との相談で、机に向かえる日は多くはなかった。午後は溪流を散策しながら構想を練ってメモにした。夜は推敲と弟子の文章を厳しく添削したという。

塩原温泉の文人墨客と地域文化は1908(明治41)年1月に生まれた福渡の和泉屋旅館14代目の洋太郎(本名・田代太平)を抜きには語れない。旧制大田原中在学中、学生文芸コンクールの詩の部で一等に選ばれた、その時の審査委員長が野口雨情で、雨情と師弟関係を結び、竹久夢二とも親交をもった。



戦後、山岡荘八とは義兄弟を名乗った。旅館経営の傍ら、小説、詩、学校の校歌などなどを書き、地域の文化活動に心血を注いだ。多様なジャンルを縦断する文筆家であると同時に、「地方」と「都市」の文化の架け橋ともなった。「和泉屋旅館」は文化交流の場となった。塩原温泉郷のサロンであった。

「和泉屋旅館」にゆかりの文人の名は、尾崎紅葉、野口雨情、横山大観、下村観山。温泉郷全体に広げれば、国木田独歩。長塚節、高村光太郎・智恵子夫妻、斎藤茂吉、田山花袋、与謝野鉄幹・晶子夫妻、若山牧水……。挙げてゆけば、きりが無い。



【昭和初期の畑下の様子】



## 【中里鉄也の目・Q&A】

Q : ゴルフを始めて数年ですが、塩原カントリーは芝目がキツイと感じます。芝目の見方や方法を教えてください。

A : 「芝目がキツイ」とよく言われます。  
芝目の見方や方法をご説明します。

① 一般的に「富士山から芝目が流れる」と言われますが、塩原 CC で意識すべきは周辺の山々、特に「高原山(たかはらやま)」です。

\*鉄則 : 山から谷に向かって芝が寝る傾向があります。

\*見極め方 : どちら側に高い山があるかを確認し、「山側から谷側へ」順目であると仮定してラインを読み始めてください。

② カップの縁(ふち)を観察する

カップの切り口を近くで見てください。

\*芝がボロボロしている側 : そちらに向かって芝が伸びています。

\*切り口がきれいな側 : そちらから芝が生えてきています。

もしカップの左側が削れていれば、芝目は「左」に向かっていきます。

③ グリーンの「色の見え方」で見分ける

パッティングラインの反対側から色をチェックするのも確実な方法です。

\*白っぽく光って見える場合 : 順目 芝が自分から離れる方向に寝ている。抵抗が少なく転がりが速い。

\*濃い緑色(暗く)見える場合 : 逆目 芝が自分に向かって立っている。抵抗が強く転がりが重い。

●芝目は周りの環境や芝の種類などにより、大きく左右されます。

今回は、あくまでも一般的な方法をご説明しましたが、実際に行くゴルフ場のマスター室やキャディーに聞くのが一番わかりやすいと思います。



## 編集後記

品格も教養も感じさせぬ言葉でののしり、朝令暮改どころか、舌の根も乾かぬうちに前言を取り消し、赤ん坊かと思わせる。これが文明国の大統領だ。失礼だが彼の国の人々は、よくこんな人を大統領に選んだものだと思ってしまう。おかげで、世界は原油の取り合いで揺れている。その大統領と笑顔でハグして、大喜びした女性首相がいる。人の言うことに耳を傾けることが不得意だそうだ。目指す方向へ振る旗は右旋回している。二人の言説を報じるメディアは、あまり評価に触れない。運動会で「入場」「退場」を告げる大音響のように聞こえる。その装置を拡声器という。

井上安正

